

1 公民的分野を学習するねらい

- 個人の尊厳と人権尊重の意義を広い視野から考察し、国際的な地帯の権威と権力に目を向け、国際情勢の急変に備え、国際社会の発展に貢献する態度を育成する。
- 現代の民主政治や経済活動などについて、自ら考え、理解を深め、社会の発展に貢献する態度を育成する。
- 世界平和の実現と人類の福祉の増進を、相互に協力し、理解し、国際社会の発展に貢献する態度を育成する。
- 現代社会に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集し、公正に判断し、適切に表現する。

2 評価の観点

- 1 社会的事象に対する関心を高め、広い視野に立って考え、理解しようとする。
- 2 社会的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断して、結果をまとめたり発表や討論をしたりできる。
- 3 社会的事象について基本的な考え方や知識を身につけ、社会的事象の意義や相互の関連などを必要な資料を収集・活用して理解することができる。

3 評価の方法

- 授業中の態度や発言・発表など参加の様子
- プリントへの取り組み、レポート・ワークなどの提出物の提出状況と内容
- 中間・期末テストや小テストの観点別問題の達成状況

	学習すること	学習のねらい
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新 ・日清戦争 ・日露戦争 ○第二次世界大戦 ・第一次世界大戦 ・世界恐慌と日本 ・第二次世界大戦 ○現代の日本と世界 ・戦後の国際社会 ・新本と世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新を経て近代国家を形成する過程を、欧米諸国との関係の中で理解する。 ・急速な近代化による国際的な地帯の急変に備え、国際社会の発展に貢献する態度を育成する。 ・第一次世界大戦後の国際情勢を背景に、日本の国民の政治的自覚の高まりや対外関係の理解を深める。 ・昭和初期から第二次世界大戦までの日本の政治・経済・社会の発展と国際社会との関係について理解する。 ・戦後の国際社会の発展と世界平和の実現のために国家間の相互の主権尊重と相互理解が大切であることを理解する。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会と私たち ・現代社会の特色 ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方 ○個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障 ○現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治と私たち ○私たちの暮らしと経済 ・消費生活と市場経済 ・生産と労働 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら設定した課題の追求を通して、社会生活の意義を認識する。 ・人間尊重の考え方を基本的人権を中心に理解する。 ・日本国憲法の基本原則を具体的な生活との関わりからとらえ、自由・権利と責任・義務との関係性を社会生活の基本として認識する。 ・国会を中心とするわが国の民主政治のしくみや政党の役割などについて理解するとともに、議会制民主主義の意義について考える。 ・地方自治の考え方やしくみを理解し、住民としての自治意識を持つ。 ・身近な経済生活である消費を中心に経済活動のありさまを理解する。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・価格の働きと金融 ・政府の役割と国民の福祉 ・これからの経済と社会 ○地球社会と私たち ・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動を家計・企業・政府と金融機関の関係から理解する。 ・国際社会のかかえている地球・人的な課題についてその解決のために何をなすべきか考える。 ・世界平和の実現のために国家間の相互の主権尊重と相互理解が大切であることを理解する。

